

大岩千穂 笛田博昭 Chihō Oiwake & Hiroaki Fueda ジョイント・コンサート

イタリアとフランスのオペラ作品より

ピアノ 佐藤正浩

2014 **11.27** (木)

午後7時開演(午後6時15分開場)

全席自由

銀座・王子ホール

(銀座四丁目・三越裏)

ヴェルディ生誕200年の今年、本場イタリアから3つの歌劇場が来日するが、日本の歌劇団、ホールも負けていない。国際的に経験豊かな歌手や若手を起用、演出などにも工夫をこらす。

主な公演で日本勢の先陣を切ったのは藤原歌劇団。2月10日、11日、東京・上野の東京文化会館でヴェルディ後期の傑作「仮面舞踏会」を取り上げた。音楽評論家の國土潤一はこう評する。「若手中心の公演で、最大の収穫は総督リッカルド役の笛田博昭(11日)」。粗削りながらもあふれんばかりの声の威力は、声のドラマを奏しませてくれた。要國淳の演出も作品への敬意に満ちていた。

共同制作の「椿姫」

3月には滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、神奈川県民ホール、東京二期会などの共同制作による「椿姫」が上演される。ウイオレッタ役にもイタリア留学経験がある安藤美穂と砂

| | |
|------|--|
| 3月 | 「椿姫」(びわ湖ホール、神奈川県民ホール、東京二期会など) 「アイダ」(新国立劇場) 「ファルスタッフ」(東京・春・音楽祭) |
| 4月 | 「椿姫」(横浜みなとみらいホール) 「オテロ」(ヴェネチア・フェニーチェ歌劇場) |
| 5月 | 「マクベス」(東京二期会) |
| 5~6月 | 「ナブッコ」(新国立劇場) |
| 6月 | 「椿姫」(ハンガリー国立歌劇場) 「シモン・ボッカネグラ」(いずみホール) |
| 9月 | 「リゴレット」「ファルスタッフ」(ミラノ・スカラ座) |
| 10月 | 「リゴレット」(新国立劇場) |
| 12月 | 「仮面舞踏会」(トリノ王立歌劇場) |

ヴェルディオペラ「競演」を楽しむ



藤原歌劇団が10日に東京文化会館で公演した「仮面舞踏会」の写真。池上直哉(日本オペラ振興会提供)

は演出で「エホバの神」の怒りを自然の力として表現し、怒りの矛先を現代の消費社会の「買い物に執着する人々」に向けている。13日には大阪で、いずみホール主催「シモン・ボッカネグラ」制作発表があった。公演は6月22日。藤原歌劇団の「仮面舞踏会」と同じく演出を担当する粟國は「ヴェルディと武士道は通じるものがある」。主人公シモン・ボッカネグラの高潔さ、死にざまに日本人は共感を持ちやすいのだろう。ボッカネグラは海賊からジェノバの総督になり、娘への深い愛、政治家としての苦悩を見せながら、最後はかつての友が水さしに入れた毒で絶命する。制作と指揮を担当する河原忠之は「いずみという中ホールの空間で人間の深層心理を描きたい」と話す。粟國は「照明などをうまく使いつつ、抽象的な舞台にしたい」。ジェノバの港の雰囲気などはあまり意識しないという。「仮面舞踏会」にレナート役で出演し、シモン役を務める堀内康雄(パリトン)は「日本の歌手はいまや無国籍的な人が多い。日米欧で経験を積み重ねている。イタリアオペラは案外入りやすい」。4月の横浜みなとみらい

「本場」続々、迎え撃つ日本勢

13日には大阪で、いずみホール主催「シモン・ボッカネグラ」制作発表があった。公演は6月22日。藤原歌劇団の「仮面舞踏会」と同じく演出を担当する粟國は「ヴェルディと武士道は通じるものがある」。主人公シモン・ボッカネグラの高潔さ、死にざまに日本人は共感を持ちやすいのだろう。ボッカネグラは海賊からジェノバの総督になり、娘への深い愛、政治家としての苦悩を見せながら、最後はかつての友が水さしに入れた毒で絶命する。制作と指揮を担当する河原忠之は「いずみという中ホールの空間で人間の深層心理を描きたい」と話す。粟國は「照明などをうまく使いつつ、抽象的な舞台にしたい」。ジェノバの港の雰囲気などはあまり意識しないという。「仮面舞踏会」にレナート役で出演し、シモン役を務める堀内康雄(パリトン)は「日本の歌手はいまや無国籍的な人が多い。日米欧で経験を積み重ねている。イタリアオペラは案外入りやすい」。4月の横浜みなとみらい

川瀬子、ジェルモンにはイタリアで活躍する上江準人を起用する。二期会は続々5月の公演で「マクベス」を上演。英国人演出家を予定、タイトルロールにはドイツから帰国した小森輝

は5月から6月にかけて、ヴェルディの出世作「ナブッコ」を上演。英国人演出家を予定、タイトルロールにはドイツから帰国した小森輝が歌う。東京二期会の多田羅連夫オペラ企画委員長は「歌手は新制作だ」「ウィックは大都市東京ならではのナブッコを構想している」(岡本敏彦)。公演は6月22日。藤原歌劇団の「仮面舞踏会」と同じく演出を担当する粟國は「ヴェルディと武士道は通じるものがある」。主人公シモン・ボッカネグラの高潔さ、死にざまに日本人は共感を持ちやすいのだろう。ボッカネグラは海賊からジェノバの総督になり、娘への深い愛、政治家としての苦悩を見せながら、最後はかつての友が水さしに入れた毒で絶命する。制作と指揮を担当する河原忠之は「いずみという中ホールの空間で人間の深層心理を描きたい」と話す。粟國は「照明などをうまく使いつつ、抽象的な舞台にしたい」。ジェノバの港の雰囲気などはあまり意識しないという。「仮面舞踏会」にレナート役で出演し、シモン役を務める堀内康雄(パリトン)は「日本の歌手はいまや無国籍的な人が多い。日米欧で経験を積み重ねている。イタリアオペラは案外入りやすい」。4月の横浜みなとみらい



エレーヌ・グリモーさん

エレーヌ・グリモーさん 11月に再来日へ

「旧知の曲」を大切に

強じんな打鍵、正確無誤のようであり、第2比な技巧。その美貌とは、楽章は折りを思わせる。裏腹に、どっしりとした深みのある音色を聴かせる。第3楽章は感情が爆発するフランスのピアノリスト。たびに何と生き生きとしただ。先月、NHK交響楽団の定期演奏会に出演したのに続き、11月にはアトリス・ネルソンス指揮の「新し」の作品がなければ生きていけないほど大切」といっても新鮮な気持ちで取り組む。「あたかも作曲家がそこにいて、書いたばかりのところが次々弾き出しているような雰囲気を出せるのが理想」オオカミの保護に熱心なことも知られる。「演奏会で聴衆とコミュニケーションをとるのは素晴らしいけれど、音楽業界には不健全なところもある。オオカミの保護活動は私を健全な生活に戻してくれる」。13歳。

テレビ・ラジオ 10面に掲載

ホール主催の「椿姫」は「気場」と「和製」、今年はウキにオペラ」と題し、全席4千円で小ホールでオペラを経験してもらおうとの趣向。大劇場とホール「本」(編集委員 小松潔)